

第4回定例会の主な日程

平成25年第4回定例会は、次の会期日程で開催されました。

- 12月2日(月) 本会 議
(開会、知事提出議案説明)
12月5日(木) 本会 議
6日(金) (一般質問・質疑)
12月9日(月) 常任委員会
10日(火)
12月11日(水) 調査特別委員会
通学児童生徒の安全確保に関する調査特別委員会を開催し、調査を行いました。
12月12日(木) 決算特別委員会
12月16日(月) 本会 議
(委員長報告、採決、閉会)

一般質問(要旨)



西野 一 議員
いばらき自民党
常陸太田市選出
一括方式

イノシシの被害防止対策

議員 イノシシによる農作物の被害が年間を通じて発生し増えているが、その被害状況及び被害の低減を図るための対策はどうか。
農林水産部長 被害額は前年度より減少したが、被害の範囲は、中山間地域に加え、小美玉市、行方市でも報告されるなど拡大している。対策は、猟友会の捕獲にのみ頼るのではなく、集落ぐるみの進入防止対策を支援する獣害対策サポーターを育成し、市町村とも連携し取り組んでいく。

質問者

- 12月5日(木)
西野 一 (いばらき自民党)
青山 大人 (民 主 党)
宮崎 勇 (いばらき自民党)
外塚 潔 (いばらき自民党)
12月6日(金)
島田 幸三 (いばらき自民党)
細谷 典男 (無 所 属)
飯田 智男 (自民県政クラブ)
福地 源一郎 (いばらき自民党)

橋梁(りょう)施設の長寿命化

議員 県の橋梁長寿命化の進捗状況及び市町村の橋梁長寿命化計画の策定状況は。また、いづれ寿命となる橋梁への対応方針は。
土木部長 今年度末までに県では百五十五橋が対策完了見込みで、ほぼ計画どおりである。市町村の計画は四十二市町村が策定見込みで、来年度には全てが策定する予定である。将来は、架け替えなど、交通環境に合った対応を検討する。(ほかに、林業生産性の向上、科学技術創造立県の人材育成、特別支援教育の充実なども質問)



イノシシを捕獲する箱わな



議員 党出
青山 大人 市選出
民 土 浦 分割方式

霞ヶ浦・筑波山周辺地域の振興策

議員 霞ヶ浦・筑波山といった茨城が誇る観光資源を活かし、周辺地域の振興を図るため、どのような取り組みをしていくのか。
知事 市町村や民間事業者などと広域的に連携し、霞ヶ浦湖沼水質保全計画に基づき、霞ヶ浦の水質浄化により一層取り組むほか、自転車愛好家向けサービスの充実や清潔で使いやすいトイレ整備への支援など観光の魅力向上や、地域の農水産物であるレンコンなどの消費拡大に努めていく。

予防に重点を置いた健康寿命を伸ばす取り組み

議員 シルバリーハビリ体操の普及拡大のほか、他県の先進事例導入など、健康に生き生きと暮らせる、予防に重点を置いた健康寿命を伸ばすための今後の取り組みは。
保健福祉部長 シルバリーハビリ体操は介護予防に有効であることから、体操のさらなる普及啓発や、いばらきヘルスロード**の指定距離の延長のほか、市町村に対し、先駆的事例である健康マイレージ**の情報提供などを行っていく。(ほかに、水道の断水防止対策、水郷体育館の改修なども質問)



霞ヶ浦から望む筑波山



議員 自民党
外塚 潔 市選出
いばらき自民党
かすみがうら市選出
一括方式

世界湖沼会議の誘致

議員 平成七年に霞ヶ浦で開催された世界湖沼会議をきっかけにして、県民の湖沼環境保全の意識が盛り上がった。これをさらに高めるためにも、世界湖沼会議を再度霞ヶ浦に誘致してはどうか。
知事 開催により霞ヶ浦での研究成果の発信や新たな知見の取得ができ、県民の気運醸成も期待できるのではと思うが、再誘致には流域市町村など関係機関の理解・協力が不可欠なため、意見を聞きながらその是非を検討していきたい。

ワカサギの販路拡大

議員 霞ヶ浦で十二月に獲れる寒曳きワカサギは、脂がのつておいしいと非常に好評である。消費量を拡大するため、ブランド化して販売を促進するための取り組みは。
農林水産部長 関東五都県の大型量販店において試食キャンペーンなどを行うとともに、「いばらきの地魚取扱店」と連携してワカサギが買える店などをPRし、知名度向上と消費拡大を図っていく。(ほかに、自転車を生かした地域振興、県道戸崎上稲吉線の整備なども質問)



世界湖沼会議をきっかけに設立された霞ヶ浦環境科学センター

質問方式について

平成二十四年第一回定例会から分割方式が導入され、議員は次のいずれかの質問方式を選択できるようになっています。
○一括方式
質問項目すべてについて一括して質問し、一括して答弁を求める方式。
○分割方式
質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求める方式。

看護職員の確保



議員 党出
宮崎 勇 市選出
いばらき自民党
筑 西 一括方式

議員 高齢化の急速な進展や医師不足に伴い、看護職員の役割・需要が増大している。新規養成や再就業促進など、どのように看護職員の確保に取り組んでいくのか。
保健福祉部長 県立機関での養成に加え、民間養成所への助成などを行っており、今年度は新たに二校の看護師養成所が開校された。また、県立医療大学に来年度から助産学専攻科を開設するほか、結城看護専門学校を活用した再就業の支援事業にも取り組んでいる。

国道二九四号の四車線化の推進

議員 圏央道の開通に向けて、県西地域を縦断し圏央道と北関東道を結ぶ国道二九四号の早期四車線化が必要と考えるが、整備状況は。
土木部長 総事業区間約二十七・五キロメートルのうち約六割の四車線化が完了した。現在、残区間の道路改良工事や筑西市内の春日大橋の橋脚の耐震補強工事などを進めている。来年度は同橋の上部工事に着手する予定であり、引き続き早期の全線供用に努めていく。(ほかに、女性医師への支援強化、筑西地域の園芸振興なども質問)



国道294号の四車線化工事(筑西市)

県議会を傍聴しませんか

県議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。本会議の傍聴(定員300名)を希望される方は、県議会議事堂5階の傍聴受付で簡単な手続きをしていただくだけで入場できますので、是非お越しください。なお、手話通訳を希望される方、委員会の傍聴を希望される方、その他詳細についてお知りになりたい方は、県議会事務局議事課にお問い合わせください。

お問い合わせ先

電話 029-301-5634
FAX 029-301-5629

※【いばらきヘルスロード】…県民の健康づくりのため、ウォーキングの推進を図り、高齢社会を見据えて子どもからお年寄りまで、また障害のある人も安全に歩けるコース。
※【健康マイレージ】…住民の主体的な健康づくりを支援するため、各種健診を受診することに対してポイントを付与し、それに応じたサービスが得られるシステム。